

人権に関する作文・絵画(小中学生の部)入選作品

すべての町民の基本的人権が尊重され、差別のない明るく住みよい町の実現に向けて、人権に関する標語、絵画、作文を募集しました。その中から、入選作品を随時紹介します。(学年は令和2年度のものです。)



東ときわ台小学校 5年 今中 春花



光風台小学校 6年 大島 祈花

ラブリを通じて知り合つたおじさん

吉川小学校 6年 越知 瞳

私は犬を飼っています。名前は、ラブリです。犬種はラブラドールレトリバーです。私は、最初犬が怖くておわせませんでした。おじいちゃんの家にいるトイプードルでも、近づいてくるとげ回っていました。

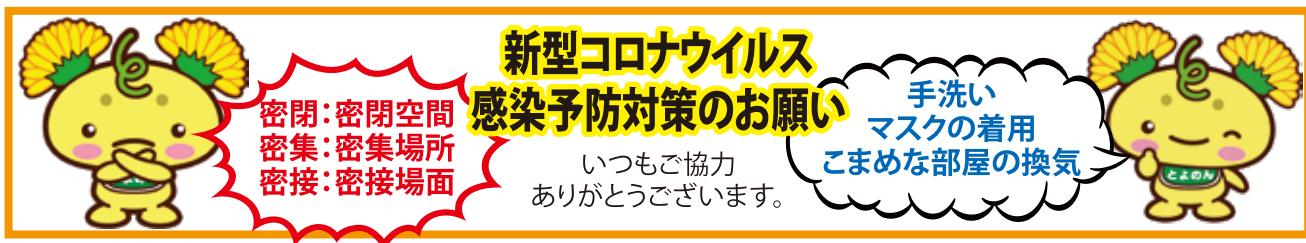
ある日、お父さんが急に犬を飼うと言ったので、一緒に犬の種類を見ました。ラブラドールレトリバーの子犬が可愛かったので、飼うことになりました。初めて子犬が来たとき、恐る恐るさわててみると手をなめてくれました。犬の名前を「ラブリ」とつけました。毎日ラブリと遊んでいると楽しくなってきました。ラブリと散歩をしていくと、

「可愛いね。」

「生まれて何ヵ月?」
「盲導犬?」

など、犬と散歩している人から通りがかりの人まで、いろいろな人から声をかけられました。今まで歩いていても声をかけられることはなかつたけれど、犬を通じて声をかけられる犬友達が増えました。ラブリも月日がたつにつれ少しずつ大きくなり、力も強くなり、散歩をしていくとたまに私が引っ張られて転ぶこともあります。特にラブリは、人が好きなので、声をかけてくる人に喜んでとびかかるので止めることができました。

ある日、おじさんが来て、強引に暴れるラブリに近寄り、大人しくお座りをさせました。「すばらしい」と思いました。そのおじさんは、犬のことをよく知つていて、大きく低い声でさけぶように言つた。犬はよくきくなど、いろいろとしつけの仕方を教えてもらいました。私の家ではそのおじさんを「ドッグトレーナー」と呼んでいます。公園の近くを散歩していくとき、そのおじさんには「公園で一緒に走つて運動させてあげたら」と言われたので犬と一緒に走りました。また、おじさんは、私にも走り方の形や足の地面の着き方、小学生の時期に運動をすれば、肺や心臓が強くなることなどいろいろ教えてくれました。私も走るのが好きなので、走るときのうでのふりかたなど、いろいろ教えてもらいました。そんなとき、「庫ダムマラソンがある事を知り、出ることを決めました。おじさんの言われた通りに練習して、小学校五・六年の部で五位に入りました。とてもうれしかったです。ラブリを通じて、知らないかつた人とも知り合いになれ、犬の力はすごいなあとと思いました。今もそのおじさんとはたまに会い、走ったり、ラブリのしつけをしてもらつたりしていますが、おじさんの名前や住んでいるところは知りません。おじさんに「やつは、ハド五位になつた」とも言つてこません。いつも会話は、ラブリのことが多いので、名前を聞くといもないけれど、人の輪はすばらしいなあと思いました。つか、その報告ができるようになればいいなあと思つてこます。



町の木/スギ



町の花/タンポポ



町の鳥/ウグイス



町の面積



人の動き

	人口	男	女	世帯数
R2.11月末日	19128人	9138人	9990人	8671世帯
前月比	-12人	-8人	-4人	7世帯
人口前月比の内訳	38人	34人	2人	18人
転入等				
転出等				
出生				
死亡				